

「くらしを支える情報」

指導目標	<p>◎自分たちの生活と情報とのかかわりに関心をもち、意欲的に調べる。</p> <p>◎国民生活と情報化した社会とのかかわりについて考え、分かりやすく表現する。</p> <p>◎資料やインターネットを活用して必要な情報を集め、それらを読み取り、ノートやレポートにまとめる。</p> <p>◎情報ネットワークが国民生活を向上させていることやそれらを有効に活用することの大切さを理解する。</p>
公共交通を教材とする利点	<p>情報ネットワークの発達が、公共サービスの向上や国民生活にどのような影響を及ぼすのかを考えていく中で、実際に時刻表・運賃検索システム（さっぽろえきバス navi）を使い、公共交通の利用促進や維持への効果を考えることで、情報システムの活用大切さを理解することができる。</p>
対象学年	5年生
対応教科	社会科
標準校時	6コマ
学習構成	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p>1. 情報ネットワークの仕組みを学ぶ</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を得る手段や情報の内容、情報を伝える手段の歴史などを調べて、現代の情報は大量・正確であることを知る。 ・テレビ放送や新聞報道の制作方法を知り、また自分たちがテレビ放送や新聞報道から受ける影響を考える。 <p>2. 情報ネットワークと国民生活との関わり</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療とインターネットの関わり（新しい医療技術）を知り、医療にもインターネットが有効活用されており、日本人の健康を守る役割を果たしていることを知る。 <p>3. 情報化と公共交通の関わり</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活と公共交通機関の関係を考え、インターネットを活用することで公共交通が利用しやすくなっていることに気付く。 ・時刻表・運賃検索システム（さっぽろえきバス navi）を使って便利さを実感し、利用が便利になることで利用が増えることに気付く。 <p>4. 情報ネットワークを活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報ネットワークを活用することの良い点、悪い点を考える活動を通じて、しっかり考えて情報を扱うことの重要性を知る。 </div>

札幌らしい交通環境学習とは、「MM※教育」に着目し、「交通」の中に存在する「社会的ジレンマ問題」を通じ、広く、環境意識や公共の精神を醸成することを目的としている。初等教育における学習教材として適することが、これまでの研究事例等で明らかとなっている。

※「MM」とは、一人ひとりの移動（モビリティ）が、個人的にも社会的にも望ましい方向へ自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通施策。

■実施例

実施校 札幌市立屯田小学校

実施日 2012年2月8日（水） 6校時

科目 / 社会
 単元名 「くらしを支える情報～情報ネットワークを生かす～」
 [6時間扱い 本時6/6]

指導者 斉藤 健一

[指導計画]

1.教材にかかわって

①学習指導要領の位置づけ

[小学校学習指導要領解説 社会編]

●目標

(2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。

●内容

(4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。

ア 放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわり

イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり

多種多様な情報を必要に応じて瞬時に受信したり発信したりすることができる情報ネットワークの働きが
公共サービスの向上のために利用され、国民生活に様々な影響を及ぼしていることを具体的に調べる。

②モビリティ・マネジメント教育の視点から

本実践では、さっぽろえきバスnaviを取り上げる。さっぽろえきバスnaviは、札幌エリアの公共交通機関の乗継経路や運行時刻などを検索できる、公共サービス向上のために利用される情報ネットワークである。

本時では、さっぽろえきバスnaviを知らない70%の市民がさっぽろえきバスnaviを知ることによって、どのような影響があるかを考えていく。バスを利用しやすくしたり、移動手段の選択肢を広げたりする可能性があることに気付けば、さっぽろえきバスnaviが市民生活を向上させていることがわかるはずである。

マイカー社会は持続しない。今後、高齢者が増えていく中、持続可能な社会を支える公共交通の価値が見直されていこう。さっぽろえきバスnaviの利用者が増え、現在よりも周知されれば、バスの利用者が増えるはずである。自動車で行こうかバスで行こうか迷って自動車を選択していた人が、さっぽろえきバスnaviの存在を知ることによってバスを選択する機会が増えるかもしれない。

よりよい社会や地球環境を考えた時、公共交通の役割は重要である。情報ネットワークの発達が市民生活を向上させ、公共交通の維持につながることに子どもたちが気付いていける授業としたい。

③資料の活用

さっぽろえきバスnaviのパンフレットを活用する。えきバスnaviの使い方や便利さがわかる資料である。この資料を通して、えきバスnaviを知らない市民がどのように活用していくのかを考えさせていきたい。

2.単元にかかわって

●単元の目標

- ・自分たちの生活と情報とのかかわりに関心を持ち、意欲的に調べ。(関心・意欲・態度)
- ・国民生活と情報化した社会とのかかわりについて考え、分かりやすく表現する。(思考・判断・表現)
- ・資料やインターネットを活用して必要な情報を集め、それらを読み取り、ノートやレポートにまとめる。(技能)
- ・情報ネットワークが国民生活を向上させていることやそれらを有効に活用することの大切さを理解する。(知識・理解)

●単元の構成

		子どもの主な活動		
情報ネットワークの仕組みを学ぶ【5時間】	◆オリエンテーション◆ くらしを支える情報とは? ○単元名から学習を想起 ○国語辞典を使って調べる	◆テレビ放送◆ テレビのニュースはどのように制作されているのだろう?	◆新聞報道◆ 新聞はどのようにして作られているのだろう?	
	情報を得る手段は? ・テレビ・新聞・ラジオ ・インターネット・雑誌 ・携帯電話 どんな情報を得ているの? ・ニュース ・天気予報 ・品物の情報 など 情報を伝える手段の歴史は? 昔 → のろし&使者 江戸時代 → 飛脚 明治時代 → 電話 現代 → さまざまな手段がある	情報を集める → 情報を選ぶ → 一つになって → 情報を伝える 「より速く・正確に・わかりやすく」わたしたちのくらしはテレビ放送によってどのような影響を受けているのかな? 世界中の情報を知る! 買いたい物を決める! たくさんの人のかかわりを通じてテレビのニュースは作られているんだね。	取材 → 制作 → 印刷 → 発送 連携して... 「より速く・正確に・わかりやすく」わたしたちのくらしは新聞報道によってどのような影響を受けているのかな? 多くの出来る事を知る! 幅位広い情報を得る! 読んで考える 人の考えを知る たくさんの人のかかわりを通じて新聞は作られているんだね。	
情報ネットワークと国民生活とのかかわりを学ぶ【5時間】	◆情報化と医療①◆ 医療とインターネットはどのようなかかわりがあるのだろう? ★遠隔医療★ ・直接病院に行かなくても、診断や指示ができる。 ・離島や山間部の人でも高度な医療が受けられる。 ★電子カルテ★ ・総合病院と診療所で情報を共有できる。 画期的なシステムだ! 平等に同じ医療が受けられる。 生活が益々便利になっている!	◆情報化と医療②◆ Ticket システムって何だろう? 携帯電話やパソコンで受付できる! インターネットを活用したサービス 病院のメリット ○混雑を防げる ○病気の広がりを防ぐ ○静かな環境を作る ○受付がスムーズ 患者さんのメリット ○時間を有効に使える ○何人待ちかわかる ○無料で使える ○状態の悪化を防ぐ Ticket システムの社会的役割は? 病院と患者さんをつなぐ! 病院に行きやすくする! 日本人の健康を守る役割もある!	◆情報化と公共交通①&②◆ 公共交通機関って何だろう? バス 地下鉄 JR・市電 最近バスに乗りました?(資料) 自分たちもあまりバスには乗らない... 時間がかかるし、どのバスに乗ればいいのかわからない... バスにはメリットとデメリットがある バスがもっと利用しやすくないかな? 行き先までの乗り換えがわかる! 時刻や料金もわかる ★さっぽろえきバスnaviを使ってみよう★ さっぽろえきバスnaviを使うと、公共交通機関が利用しやすくなるね!	◆情報化と公共交通③◆ バスの利用を増やすにはどうすればいいのだろう? 自動車の利用を減らす バスの良さを さっぽろえきバスnaviを一人でも多くの市民が知ると? 意識が変わる! バスに乗ってみよう! さっぽろえきバスnaviを広めることで、公共交通機関が利用しやすくなり、市民の意識が変われば、バス利用が増える!
	医療にもインターネットが有効活用されているんだね!	病院にも患者さんにもメリットがあって、日本人の健康を守る役割を果たしている!		
情報ネットワークを活用	たくさんの情報を使いこなすにはどのようにすればいいのだろう?	【良い点】 ・メールで遠くの人と交流 ・画像や音声を取り出せる ・いつでもどこでも使える ・手軽に買い物ができる	【悪い点】 ・トラブルや犯罪 ・コンピューターウイルス ・誹謗・中傷 ※個人情報 ※報道被害 ※ネチケット	情報ネットワークのよい点と悪い点をしっかり考えながら使うことが大切だね

3. 本時の目標と学習展開

●目標

- ・さっぽろえきバス navi を通して、情報ネットワークの働きと国民生活とのかかわりについて考え、情報化の進展によって人々の生活の向上が図られていることがわかる。

●展開

	学習展開	教師のかかわり
<p>【問いを共有する姿】 さっぽろえきバス navi の利用率を知り、システムのよさと矛盾する結果に疑問をもつ。</p> <p>公共交通機関の利用率を表したグラフ及びバスの現状を知らせる新聞記事を見てバス利用の減少に危機感をもつ。</p> <p>【響き合う姿】 既習や生活経験、資料をもとにバス利用を増やす方策を考え、活発に交流する。</p> <p>札幌市民の意識の変化が大切であり、さっぽろえきバス navi がその役割を果たす可能性があらに気付く。</p>	<p>(前時まで) 自分の生活と公共交通機関の関係を考え、さっぽろえきバス navi を使うと公共交通機関の利用がしやすくなることに気付いている。</p> <p>さっぽろえきバス navi のよさは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻がわかる！ ・乗り換えがわかる！ ・料金がわかる！ ・停留所がわかる！ ・札幌市内どこでも公共交通機関で行くことができる。 <p>札幌市内輸送機関別乗車人員(グラフ)</p> <p>さっぽろえきバス navi を使うと、公共交通機関が使いやすくなる！</p> <p>札幌市民の認知度は約30%…。一日の利用者は約13000人。</p> <p>しかし…</p> <ul style="list-style-type: none"> えきバス navi は便利はずなのに、バスの利用者は30年で50%も減っている… このままではバスが赤字で、廃止になってしまう路線も… 13000人使っているも札幌市の人口は190万人だから意外と知られていない？ <p>バスの利用を増やすには、どうすればいいのだろう？</p> <p>バスの良さを伝える さっぽろえきバス navi を広める</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全で安心できる乗り物 低床バスもある 安い料金で遠くまで！ 環境にやさしい！ 誰でも乗れる！ 札幌市内どこでも行ける ポスターでお知らせ！ パンフレット 広報誌でPR <p>バス会社や市役所</p> <p>バスの良さを知り、利用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車の利用を減らす 札幌ドームや市内中心部へ行くときは公共交通で！ 自分だけではなく、市民全員のことを考えて行動する バスを利用→赤字路線を支える <p>自分も含めた札幌市民</p> <p>自動車と公共交通をバランスよく使い分ける！</p> <p>自動車の利用を一回だけでもバスに変えてみよう！</p> <p>意識が変わる!!</p> <p>利用が増えると、公共交通がもっと身近になる。</p> <p>バスを利用しやすくする!! 行き方がいくつも分かる!!</p> <p>市民一人ひとりの意識が変われば、バスの利用が増える！ さっぽろえきバス navi はそのきっかけになりそうだね！</p>	<p>教師のかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時を想起させ、さっぽろえきバス navi のよさを浮き彫りにする。 ・公共交通機関の利用率を表したグラフ及び新聞記事を提示して問いを生む。 ・立場ごとに分けて板書し、まとめる。 ・交通環境学習を網羅する。 ・えきバス navi に焦点化。社会科の学習のねらいに迫っていく。 ・認知度が低い事実から、さっぽろえきバス navi に焦点を当て、その役割や価値に気付かせていく。 ・本時のまとめ、振り返りをさせる

板書計画

板書計画

バスの利用は

バスの利用を増やすには どうすればいい？

市民一人一人の意識が変われば利用が増える！
さっぽろえきバス navi がそのきっかけになる！

バスのよさを伝える

- 安全で安心
- 低床バスもある！
- 安い料金で遠くまで！
- 環境にやさしい！
- 誰でも乗れる！
- どこでも行ける！

えきバス navi を広める

- ポスターでお知らせ！
- パンフレット
- 広報誌

バス会社や市役所

バスのよさを知り、利用する

- 自動車の利用を減らす
- 札幌ドームや市内中心部へ行くときは公共交通で！
- 自分だけではなく、市民全員のことを考えて行動する
- バスを利用→赤字路線を支える

自分も含めた札幌市民

自動車と公共交通をバランスよく使い分ける！

自動車の利用を一回だけでもバスに変えてみよう！

意識が変わる!!

利用が増えると、公共交通がもっと身近になる。

バスを利用しやすくする！
行き方がいくつも分かる！
乗り換えも分かる！

市民一人一人の意識が変われば利用が増える！
さっぽろえきバス navi がそのきっかけになる！

現状

公共交通機関は使いやすくなる！
一日の利用者 13000人 → 1%以下
認知度 約30%
知られていない！

月日 習 量

4.本時で活用する資料

●本時で活用する資料

えきバス navi
ホームページ

えきバス navi
パンフレット

「最近、バスに乗
りました？」冊子